

知財を事業に活用した

支援事例集

2025

INPIT岡山県知財総合支援窓口

相談
無料

秘密
厳守

専門家
派遣

訪問
相談



【開設時間】 8:30～17:15

毎週月曜日～金曜日（祝日、年末年始は除く）

【住 所】 〒701-1221

岡山市北区芳賀5301 テクノサポート岡山3F

【T E L】 086-286-9711

【F A X】 086-286-9706

岡山知財

検索



【受託機関】 公益財団法人岡山県産業振興財団・一般社団法人岡山県発明協会

独立行政法人 工業所有権情報・研修館(INPI)事業





美作市

- ① オサカダツール株式会社
- ② 有限会社右手養魚センター



事業・経営

オリジナルチゼルで世界市場へ
うて特產品等商標出願の登録証に係る報告

津山市

- ③ 山陽熱工業株式会社



- ④ ダイコク工業株式会社



- ⑤ 有限会社ファインアートかわばた



- ⑥ 株式会社パドック



アタッチメント式除草機で有機農業へ

取り込まれる農家の力になりたい

脱下請けに寄与する開発技術の知財活動支援

膜天井用知支持具及び膜天井の施工方法

可動荷台付きトラック

岡山市

- ⑦ 株式会社MJカンパニー



- ⑧ 東進工業株式会社



- ⑨ patternstorage株式会社



- ⑩ 株式会社横山工房



- ⑪ 株式会社エナジーフロント



筋膜リリース機器「メディセル」の知財支援

営業秘密管理体制整備を契機に自社の強み

(知財)を活かした未来展望を描く！

アパレル製造サポート事業の起業支援

「療育用の机及び椅子の知財保護」の支援

高齢化社会での介助負担の軽減を目的

とする特許出願支援

独自開発した技術で国内市場拡大・海外進出へ

自社の強みを見える化し技術ブランディングを

目指す

登録商標をブランドとして活用し、卸売業から

BtoCビジネスへ

- ⑬ テック鬼城株式会社



- ⑭ ユアサシステム機器株式



会社

- ⑮ 岡山中央魚市株式会社



総社市

- ⑫ アース企画
- ⑬ 株式会社川上鉄工所
- ㉙ 株式会社日ノ出化工



研磨器の意匠権を活用したライセンス支援
ものづくり基盤技術としての知財活用支援
100%自然素材の除菌剤・消臭剤の商標保護、
販路開拓支援

倉敷市

- ⑭ 株式会社みのりや
- ⑮ モア・ガーデン
- ⑯ 果樂株式会社
- ⑰ 有限会社七島屋エンジニアリング
- ⑱ 株式会社大島屋
- ⑲ 有限会社米・酒センター平松
/岡山地酒創庫イチローズ
- ㉑ 株式会社東洋工務店
- ㉓ 株式会社RAKUNY
- ㉕ 旭英フォルム株式会社



酒類の商標支援(次世代へ繋ぐブランド)
「大学と共同開発した地元材料使用菓子の
知財保護」の支援
白桃の長期保存技術による新商品」の
ハウスマーク権利化支援
海外販路開拓のための外国出願補助金を活用
底付き感を減少させた敷物の特許出願

古酒のプライベートブランドの商標権取得
100年企業を目指した新たな挑戦
(コーポレート・アイデンティティ活動から始まる知財戦略支援)
工事管理システムの知財支援
確固たる技術を活用し新領域での存在感の
発揮を目指す

笠岡市

- ㉐ グリーンツール株式会社
- ㉑ シャイントマトファーム



「切削工具のワンストップサービス」の支援
「美味しく輝くミニトマトの栽培、販売」の創業、
ブランド化、販売戦略支援

① オサカダツール株式会社

【所在地】 美作市

【業 種】 製造業

商標

意匠

オリジナルチゼルで世界市場へ

●企業紹介

当社は、最新鋭の技術とクオリティを熟練の職人技によって実現するチゼル（ブレーカの先端工具）・耐衝撃工具製造メーカーです。自社工場で一貫生産した製品は全国各地や北米、東南アジア、中東へ販売を行っています。

●相談のきっかけ

よろず支援拠点（齊藤充正コーディネーター）との連携で、国内商標登録出願について知財総合支援窓口へ相談がありました。その相談が進むうちに、先端部に長く深い溝を持つ新型チゼルの製造・販売を企画しており、他者の特許があるか調査方法を教えてほしいという新たな相談があり、J-PlatPatによる調査方法を説明し、産業財産権制度についても説明しました。

●支援概要

J-PlatPatの調査では権利侵害につながる他者の権利は見つかりませんでした。そのため、専門家（木村厚弁理士）を活用し、同社の新型チゼルの特徴的な先端部の形状について、意匠出願を支援しました。この出願を契機に別のチゼルについても特徴的な形状を有していることに気づき、そちらの

意匠出願も支援しました（意匠登録第1636719号、意匠登録第1657221号）。また、ハウスマーク（社標）と商品名「スリットチゼル」の出願も支援し（商標登録第6193121号）、知財ミックスにも取組むことができました。

●支援成果

意匠登録番号を付して新型チゼルを紹介した刷新パンフレットは営業ツールとして強みを発揮し、直近1年の新規顧客30件増加、販売数100本以上を記録しました。新型チゼルは耐久性・作業効率が従来品の1.8倍となり、トンネル工事では同社のチゼル以外のものは使えないと評価され、リピート率はなんと90%。海外では、中国の商標権が専門家（森寿夫弁理士）のアドバイスにより無事に維持されました。



② 有限会社右手養魚センター

【所在地】 美作市
【業 種】 農林水産業

商標
ブランド

うて特産品等商標出願の登録証に係る報告

●企業概要

昭和44年に5人のグループで中国山地から流れる清流を利用し右手地区で清流の女王「アマゴ」(ヒラメ)の養殖に取組み、渓流釣り事業と成魚販売事業をスタートさせた。平成元年に有限会社右手養魚センターとして法人化し、本格的な経営に乗り出しました。

近年、釣り愛好家が減少し、渓流釣り事業の売上が低下していました。そこで、平成27年3月、売上の向上を目指し、岡山市内・関西圏のファミリー層へ、「家族連れが自然の中で、1日楽しめる釣り場・遊び場」としてPRする計画を策定しました。当計画は、岡山県の経営革新計画の承認も得ています。計画の一環として、アマゴを利用した加工食品を開発し、関西等の小売店で販売することで、当社の知名度向上と渓流釣りへの観光客の獲得を目指しています。

●窓口活用のきっかけ

平成27年8月17日に岡山県商工会連合会地域経済対策課の指導員から、みまさか商工会勝田支所の会員である企業が「アマゴのうま煮」を販売しており、これを勝田地域の特産品にしたいので、ブランド化商標「源流の郷うて」の出願について指導してもらいたいとの要請が窓口にありました。「うて」は右手と書き、地名であり、企業名の一部でもあります。

●相談概要

平成27年8月27日にみまさか商工会勝田支所において、企業の代表、デザイナー、当該指導員、勝田支所長、派遣弁理士と窓口担当者が集い、効果的なブランド化商標について

協議しました。先登録商標「源流の里」との関係、企業の事業態様や販売する商品群を考慮して、ブランド化商標のデザインと指定役務(商品)が決まりました。特許庁から届いた拒絶理由通知書で、出願商標は第35類小売等役務が広範であり、いずれにも使用しているか又は近い将来使用をすることについて疑義があると認定され、かつ先登録商標「源流の里」と同一又は類似で、指定役務は先登録商標の指定商品と同一又は類似であると認定されましたが、その対応を窓口で支援し、いずれの拒絶理由も解消しました。

●窓口を活用して変わったところ

出願商標が商標登録第5852867号として登録されたことから、代表者にブランド化商標を独占して使用できるという自信ができ、釣り場の提供や「アマゴのうま煮」の販売に代表される主要な事業を推進拡大する意欲と、自然いっぱいの「右手」をPRすることで、中国山地の麓、澄んだ水で育てられた米や農作物などの地域商品を販売する等を通して、地域に賑わいを取り戻したいなどの意欲が強くなつたと感じています。



③ 山陽熱工業株式会社

【所在地】 津山市

【業 種】 加工、製造業

特許

海外展開

事業・経営

アタッチメント式除草機で有機農業へ取り組まれる農家の力になりたい

重点支援レポート

企 業概要

■社名：山陽熱工業株式会社（岡山県）

■従業員数：27人 ■資本金：1千万円

■事業内容：農業機械部品の加工、製造等

<http://sannetsu.com/index.html>

■売上高：約2億7千万円

■知的財産：特実2件、意匠4件



相 談のきっかけ

アタッチメント式除草機の要素技術の特許化

当社は、年間7000点もの農業機械部品を開発し農機具メーカーへ提供しているが、有機農業に取り組んでいる農家の力になりたいとの想いから自社技術を活かしたアタッチメント式除草機を開発し、その販売に向けて、まず製品の要素技術の特許を取得したいと考えた。

自社技術を活用したアタッチメント式除草機の事業化

自社製品の要素技術の改良と並行して、自社技術を活用したアタッチメント式除草機の販売や事業化へ向けて、ビジネスモデルも含めどのようなビジネス展開をすべきか具体策を整理し、優先順位を決定する必要があった。

課 題と支援の内容

課題	支援のポイントと活用した専門家
事業戦略	<ul style="list-style-type: none">自社商品のビジネスモデル、収益モデル、取引先との連携、販路開拓方法、顧客ニーズを取り込む仕組みについて支援を行う
量産化に向けた仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none">自社商品の改良技術について支援を行うサプライチェーン、製造ラインづくり、量産化に向けたコスト管理、外注と内製の切り分けについて支援を行う
知財戦略	<ul style="list-style-type: none">自社商品の技術の実施可能性、他社特許の侵害可能性に関する支援を行う特許以外の知財保護について支援を行う
その他	<ul style="list-style-type: none">製造物責任、品質保証、アジア圏を中心とした海外展開の検討について支援を行う

リーダー：押久保 政彦（弁理士・ブランド専門家）

支援担当者：野瀬 伸一（岡山県知財総合支援窓口）

支 援を通じてできたこと

項目	支援成果
事業戦略	<ul style="list-style-type: none">アタッチメント式除草機のビジネスモデルの全体像が整理でき、今後注力すべき領域が明確になった。
量産化に向けた仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none">自社の製造能力と製造ラインを前提とした量産化の検討を行い、今後取り得る方策が明確になった。
知財戦略	<ul style="list-style-type: none">技術の実施可能性、侵害可能性の検討を通じて自社商品の要素技術の見直しができ特許出願に活かすことができた。また意匠の取得もできた。
その他	<ul style="list-style-type: none">アジア圏の情報が入手でき、アジア圏の農業の状況を把握でき、将来の自社商品の展開可能性の検討ができた。

社 長の支援成果についてのコメント

知的財産の取得だけでなく、知的財産の活用方法や要素技術の整理やビジネスの組み立て方など、様々な角度から検討ができた。一人で考えている事が正しい事かの確認作業を含めて整理が進み、選択肢の幅が広がった。またマーケットの考え方なども参考になった。今後は実験的販売のデータから戦略を確定していきたいと考えている。

脱下請けに寄与する開発技術の知財活動支援

●企業概要

当社は1982年の設立以来、時代とともに技術の進化や企業としての成長を遂げてきたと自負しています。設立当初は小さな取引が主でしたが、今では、製缶品を中心とした製造業において大手企業からの大型案件を手掛けるなど順調な事業活動を行っています。これもひとえに、取引先のご愛顧と、従業員の努力のたまものです。

今後も、目の前の仕事に一生懸命取り組み、技術開発し、精進します。

●窓口活用のきっかけ

津山市産業支援センターの支援を受けて開発した発明品を知的財産権で保護し販売活動するよう津山市の担当者から助言され、当窓口に特許出願相談を行ったことから支援が開始しました。

●相談概要

専門家(弁理士)を派遣し、試作品を確認し新規性、進歩性について検討および助言を行い、第1回目の特許出願に至りました。その後、改良技術の完成段階で、再び、専門家(弁理士)を活用して2回目の特許出願を行いました。更に、改良技術の試作機完成の段階で既出願との技術的な関係を確認したところ、改良特許出願で保護できない技術が含まれていることがわかり、新たな特許出願となりましたが、海外需要があることからPCT国際特許出願を行い国内外での

権利化を図りました。何度も特許出願を行ったので費用負担が大きくなり、知的財産補助金制度や軽減制度等の費用軽減制度を紹介しました。第1回目及び最後の出願特許は登録され、現在も有効に存続しています。

●窓口を活用して変わったところ

同社は下請け加工業者でしたが、発明品を特許出願することにより大手鋼材商社と販売契約を締結し、上市することができました。現在の販売台数は20台となり、知財活動費用を上回りました。また、この発明品は同業者共通の技術課題だったことから全国紙(日本経済新聞)にも掲載され、潜在需要の掘り起こしにつながっています。さらに、発明品の開発がきっかけで同社は、岡山県の経営革新計画の承認を受け、自社製品の開発と製造、販売により脱下請けの第一歩を踏み出すことになりました。自社製品の製造、販売という新たな事業展開により知財活動の重要性、BtoB取引の基本である契約書の重要性の認識を新たにして、更なる技術開発に邁進し高収益企業を目指すことになりました。



⑤ 有限会社ファインアートかわばた

【所在地】 津山市

【業 種】 建設業

事業・経営

特許

意匠

膜天井用支持具及び膜天井の施工方法

●企業概要

当社は、昭和53年にテントの製造・加工・販売等を行う会社として創業しました。当時は小規模店舗のテント製作から、トラックのシート等の縫製をメインで行っていました。現在では、特にテント素材を使ったドーム型の屋根や、工場と工場の間を塞ぐような大規模な製作工事が中心になっています。

東日本大震災において、地震で建物の天井が崩壊し、本来は人や物を守り、安心を確保するはずの建物が大惨事を引き起こしているのを見て大きなショックを受けたときに、「天井を膜材にすればよい」との発想が生まれ、自社技術を活かせば天井を膜材にすることは可能と思い、膜天井の開発を始めました。

●窓口活用のきっかけ

つやま産業支援センターが「メイドイン津山」ブランドとして紹介している地場産業の商材の中に、同社の膜天井事業が含まれており、同センターの勧めにより、同社社長が開発した独自性の高い膜天井の張設に使用する金具を意匠等で保護できないかと、窓口に相談がありました。

●相談概要

当窓口の津山市サテライト窓口に来訪され、実用性の高い膜天井用張設金具の出願相談を受け、後日同社に弁理士を派遣し、特許出願から登録までを支援しました（特許第6083777号）。

また、保有する技術や特許権・意匠権を活用するため、一級建築士・中小企業診断士資格を持つ専門家による大手・中堅建設事業者との取引にあたっての戦略の

助言や、大手建設会社OBで空調関係に詳しい専門家による結露等の問題解決の助言を行いました。更には、同社及び同センター等数社による「一般社団法人 ファイバーシート天井システム協会」の設立に際し、弁護士を派遣して定款を精査し、今後の事業活動について助言しました。

●窓口を活用して変わったところ

膜天井の施工技術が特許及び意匠で保護でき、技術・事業・契約等に係る窓口支援が受けられることから、同社社長の不得意分野が縮小されて事業展開に自信ができたように伺えます。

更に、一般社団法人の設立により、膜天井工法のシステム化と普及が図られているため、事業拡大が大いに期待されます。



⑥ 株式会社パドック

【所在地】 津山市

【業 種】 製造業

海外展開

特許

意匠

可動荷台付きトラック

●企業概要

当社は、1976年にレーサー仲間が集まる小さなカフェ「Paddock」として創業しました。本田技研工業株式会社との販売契約を皮切りに、国内大手バイクメーカーと次々と販売契約を結んでバイク販売を展開し、1987年に法人化しました。

その後、マリン事業部の設置や、ハーレー・ダビッドソン専門店(トライアンフ岡山)の出店を経て、2003年からは、トライク(3輪バイク)の製造を本格化し、トライクメーカー「スリーホイールJAPAN」を2004年に設立、オリジナルモデルの販売を行っています。その他、レンタルバイク事業も展開しております。

●窓口活用のきっかけ

平成28年6月に外部定期窓口(津山市)に同社社長とつやま産業支援センター(津山市産業経済部みらい産業課)の担当者が来訪され、輸送トラックに用いる自動リフト荷台について特許出願したいので、指導してもらいたいとの相談がありました。

●相談概要

弁理士と一緒に同社を訪問し、先行技術の確認を行い、「可動荷台付きトラック」として特許出願すること、並行して当該自動リフト荷台を部分意匠として意匠登録出願することを勧め、特許及び部分意匠の出願をされました。

特許出願については、拒絶理由通知への対応として、審査官に対して出張面接審査を申し入れ、「可動荷台付きトラック」の特徴と作用効果を試作品見学により理解してもらうとともに、先行技術文献との差異を明確にする補正を行った結果、特許として認められました(特許第6072969号)。また、部分意匠登録(意匠登録第1573198号)も受けております。

●窓口を活用して変わったところ

「可動荷台付きトラック」について特許と部分意匠登録ができたことから、同社社長に独占して事業展開ができるという自信ができ、津山市内の中小企業が開発した高品質な製品であることを保証する統一ブランド「メイドイン津山」にも認定され、

事業計画は全国に拡大し、顧客対応を充実させるために、BtoB専任担当者を採用し、知的財産権取得技術拡大の体制づくりを行っています。



筋膜リリース機器「メディセル」の知財支援

●企業紹介

当社は筋膜リリースのためのオリジナル施術機器「メディセル」に関する商品の開発・販売・セミナーの開催等の事業を行っており、関連会社の株式会社フォーリーフでは研究開発と知財管理を行っております。メディセル療法の普及を通して痛みゼロの社会を目指しています。

●相談のきっかけ

筋膜リリース機器「メディセル」に係る、筋膜リリースヘッドと装置に係る特許出願及び商標登録についてINPIT岡山県知財総合支援窓口へご相談がありました。

●支援概要

筋膜リリースヘッドと装置に係る特許出願に関しては、専門家(木村厚弁理士)を活用し、PCT国際出願及び外国出願を、また、2022年には動物にも使用できる筋膜リリースヘッドと装置に係る特許出願を支援しました。特許の外国出願にあたっては(公財)岡山県産業振興財団の「外国出願補助金制度」を紹介し活用しました。

さらに、商標「Medicell」や、商標「M/MEDICELL CARE」、新しいハウスマーク等多数の商標支援を行い、専門家(森寿夫弁理士)を活用しました。

●支援成果

最初に出願した特許は4か国(日本・韓国・中国・台湾)で権利化でき、2022年に取得した特許はペット業界への参入の強みとなりました。

特許2件と多数の商標登録で営業力とブランディングを強化でき、整骨院・リラクゼーションサロン・クリニック・動物病院・トリミングサロン・競馬業界等と契約し、窓口利用前と比較すると売り上げは1.5倍になりました。また、メディセルの売上が増加したことで、営業社員や研究員の雇用が増えました。



⑧ 東進工業株式会社

【所在地】岡山市

【業種】製造業

営業秘密・ノウハウ

契約・法務

事業・経営

営業秘密管理体制整備を契機に自社の強み(知財)を活かした未来展望を描く!

●企業紹介

当社はNC旋盤・マシニング等の機械加工により農業機器、産業用ロボット各種部品の製造販売を行う企業です。常に時代の潮流を敏感に掴み最新設備を導入して、様々な製品を提供しています。また、お客様にご満足いただける技術価値を実現するため、人材育成にも注力しています。従業員一人一人が自立し新しい加工技術に取り組み、常に前向きに進歩する技術集団を目指しています。

●相談のきっかけ

INPIT岡山県知財総合支援窓口の担当者が周知活動で同社を訪問した際、社長が自社の技術ノウハウの流出について問題意識を抱いていらっしゃることが分かりました。そこで、競争優位の源泉である自社の技術ノウハウを保護することの重要性を説き、営業秘密管理体制の整備をお勧めしたことがきっかけです。

●支援概要

INPIT古田恵夫知的財産戦略アドバイザーと連携し①社内情報整理、②秘密情報管理台帳作成、③営業秘密管理規程整備、④入社時退職時の誓約書整備、⑤工場内の秘密情報管理、⑥秘密情報の管理体制確認を行いました。また、専門家(妹尾直人弁護士)と共に①取引先との契約書の見直し、②他社との契約時の基準となる自社独自の基本取引

契約書のひな型作成支援を行いました。経営面では、窓口担当者が支援を行なながら社長と工場長に事業の将来像を見据え「経営デザインシート」を作成していただきました。

●支援成果

自社の強みである技術ノウハウを再認識し、これを保護して行こうという企業風土が醸成されました。他社からの信頼度が向上し新規の引き合いも増加しています。また、顧客に対する交渉力が増し、対等な関係で取引することができるようになりました。経営デザインシートを作成することで自社が提供すべき価値を認識し、将来における事業展開について展望することができました。



アパレル製造サポート事業の起業支援

●企業紹介

当社は、岡山イノベーションスクールの卒業生として、2020年2月に法人を設立しました。アパレル製品の企画から納品までの全ての工程を一元管理できるアパレル製造業に特化した生産管理のクラウドサービスの開発を行い、業界全体の業務効率化を図るビジネスモデルを展開しています。

●相談のきっかけ

女性創業支援窓口の紹介で「patternstorage」の商標登録出願相談を受け、出願から登録までをサポートしました。本商標は、当初サービスの名称として使用する計画でしたが、サービス名だけでなく会社名としても使用することになりました。

●支援概要

商標「patternstorage」について専門家(弁理士)に指定役務の助言を受けて商標登録出願しました。使用する型紙データの著作権関連について専門家(弁護士)に相談し、著作権免責事項を記載した契約が必要であること等について助言をもらいました。関連する市場の潜在的な需要についてアパレル企業担当者から説明を受け、中小アパレル企業の省力化に寄与できる可能性を確信しました。

●支援成果

登録商標「patternstorage」は会社名及び提供するサービス名として周知活動に寄与しました。本事業は、「中国地域女性ビジネスプランコンテスト」において大賞である中国経済産業局長賞を受賞し、織維商社からの指名引き合いにつながっています。また、金融機関主催「インフィニティファンド」第1号案件として第三者割当増資を受け、開発資金を獲得することができました。



「療育用の机及び椅子の知財保護」の支援

●企業概要

当社は、学校・病院・店舗・住宅などの家具をオーダーメイドで製造している木製家具工房です。日本伝統の家具製造技術を身につけ、後世に伝承していくことをモットーとしており、従業員には「家具製作技能士」の有資格者も複数います。製品としては「人と環境にやさしい家具作り」を目指しています。

また、平成24年に「療育事業」を立ち上げ、発達障害児の療育用の学習机・いすセットを開発し、療育施設・学校・家庭向けに販売しています。この学習机・いすは、独自の機構・構造によって、発達障害等の子どもの療育に極めて高い効果があることが実証されており、利用者から高い評価をいただいている。

●窓口活用のきっかけ

同社は人間や家に合った快適な空間を提供するため、完全オーダーメイドによる家具のデザイン・設計・製造をされております。個人事業主（大学教員）と共同開発した、落ち着きが少ないお子様でも集中して学習でき、必要に応じて保護者の方が脇で指導できる机及び椅子について、自社による2件の特許出願後に、減免制度利用による審査請求をしたいとのことで、同社社長から相談をいただきました。

●相談概要

机及び椅子に使用する商標（イー・チェスク）の登録をしたいとの相談をいただき、商標の登録要件、先行商標調査の方法、出願書類の作成方法を説明し、共同利用端末からの出願手続きを支援しました。

一方で、2件の特許出願に拒絶理由通知が発せられたため、拒絶理由の意味、本願発明と引用文献との対比、手続補正書・意見書案の検討について、専門家（弁理士）による支援を2回行いました。

結果、商標登録出願は拒絶理由通知なく登録査定（商標登録第5786195号）、2件の特許出願も特許査定となりました（特許第5834360号、5834361号）。

その後、共同利用端末からの商標登録料納付、減免制度利用による特許料納付を支援しました。

●窓口を活用して変わったところ

出願当初の明細書記載内容が不足ぎみで拒絶理由通知への対応に苦労なされたため、此度の支援を通じて、出願前に窓口および弁理士をご活用いただくメリットを感じていただけたと思います。

その後は出願前に窓口に相談いただき、新たに開発案件である定規についても、ご相談を経た後にご自身で意匠登録出願を行い、登録査定となっています（意匠登録第1575020号）。



⑪ 株式会社エナジーフロント

【所在地】岡山市

【業種】コンサルタント業、製造業

特許

意匠

商標

高齢化社会での介助負担の軽減を目的とする特許出願支援

●企業概要

当社は、2012年12月に再生可能エネルギーの導入を通して地域活性を目指すコンサルティング会社として設立しました。以降、再生可能エネルギーのみでなく、産学連携や地場産業連携をコーディネートし雇用を創出する「新事業開拓コンサル業」に積極的に取り組んできました。

現在は産学連携や、先端技術ベンチャー企業の先進技術の事業化において、アカデミアと産業の文化的な違いの橋渡しも含めた開発支援・マーケティング・プロジェクトマネジメントを包括的に支援する事業を行っています。

当社が主体となる地域連携プロジェクトとして、超高齢化社会への地場産業連携による岡山のジーンズや、帆布を活用したユニバーサルデザイン商品ブランドAUN(Action for UNiversal design)を積極的に推進しています。

●窓口活用のきっかけ

同社社長が特許等を出願すべきかどうか悩んでおられた際、岡山県産業振興財団の方と異業種交流会で話す機会があり、その中で知財総合支援窓口の存在を知り、来訪されました。

●相談概要

最初の相談内容は、同社社長の母が家族の介護苦労の中で製作した「車椅子からのずれ落ち防止具」の特許性

についての調査でした。これはデニムパンツを加工したものの、おしゃれな介護具をつくると介助される側もする側も明るくなることを学んだ良い機会でしたが、本人が取り外せないとのことでの商品化にはいたりませんでした。 AUNブランドの商標登録、持ち手つきクッションLIFTYの商標・特許・意匠、その他の新しい商品について専門家(弁理士)の指導を受けながら出願手続きなどの支援を行いました。

●窓口を活用して変わったところ

弁理士に代理人を依頼すると安心ですが、コストが掛かるので、同社社長ご自身で明細書を作成できるようになりました。

当窓口を通じ専門家(弁理士)による様々な助言の結果、一人ではできなかった色々な手続きが、自力でできるようになりました。現在では安心して知財を次々と登録できています。



独自開発した技術で国内市場拡大・海外進出へ

●企業紹介

当社は、一般道・高速道路のライン施工工事や標識設置工事、ガードレールの設置・補修工事、そして空港のライン復旧及び維持・管理を行う事業者です。ライン施工は、独自開発の高品質のライン素材と独自開発機器を用い、高い信頼を得ています。

●窓口活用のきっかけ

ライン引きやライン剥離作業は、特殊車両3～4台を現場に投入し交通整理した上で施工する大掛かりな工事で、同社は施工期間の短縮化により低コストで施工できないか研究していました。

同社は研究開発には先行技術調査が欠かせないと認識があり、先行技術調査の相談にINPIT岡山県知財総合支援窓口に相談がありました。

●相談概要

同社が開発した技術は、ライン引き施工機器、ライン剥離機器及びライン塗料の3件でした。まず、各技術分野の先行技術調査の支援を行いました。次に、権利化に当たっては複数の発明を同時に必要があり、化学分野と物理分野に詳しい専門家(弁理士)をそれぞれ活用して、特許出願の支援を行いました。

また、同社は海外進出も希望しており、同社の大手取引先の海外ネットワークを利用した営業活動を行う予定であったため、海外の特許出願は他社と共同で出願するよう助言しました。

●支援成果

同社独自でライン引き施工機器等を開発し特許出願したことで、大手取引先から高い信頼を得ることができ、大手取引先と連携して国内の施工エリア拡大の道筋が開けたことが大きな成果です。

また、他社と共同して海外市場に進出する計画が進行しています。



自社の強みを見える化し技術ブランディングを目指す

●支援を受けるにあたって掲げた事業上の目標(Before)

これまでに蓄積してきた耐久試験技術とレンタルラボのビジネスモデルを活用し、試験結果をデジタル化して依頼者にリアルタイムで共有・報告する「リモートレンタルラボ」システムを開発、新しい事業としてこれらの応用展開を図っていく。また、品質保証部門や生産部門へ拡販する市場開拓を図っていく。

●支援を受けてできるようになったこと(After)

当社の技術面の強みを表現する「闇TECH」を明確化でき、FA事業と耐久試験機部門間連携のさらなる促進につなげ、当社全体収益の向上につなげるシナリオが整理できた。

必要な知財対応を理解し、人材育成に着手。あわせてレンタルラボを増員する計画や、リモートレンタルラボはクラウド化へ向かう道筋も見えてきた。

●今後の事業展開の展望(Future)

耐久試験機のユーザーから歯車試験機の引き合いが入り始めている。またFA事業と耐久試験機の交流による売上げ増加が期待される。

今後業界が広がることで新たな知財対応が必要と認識。また協力者との連携が必要な場合にどのような対応をしていくか、社内で対応する組織づくりも必要。

●重点支援を通じて受けた支援と支援を通じてできるようになったこと

- ①ビジネスモデルの整理と事業戦略の策定
- ②知財戦略の策定と実行
- ③ブランド戦略の策定と実行
- ④販売戦略の策定と実行
- ⑤社内体制の整備



商標登録をブランドとして活用し、卸売業からBtoCビジネスへ

●企業紹介

当社は、国による認可を受けた70年の歴史を持つ水産物卸売業者です。物流会社や県外の魚市場に出資し、経営の多角化、近代化を展開しています。令和5年、同前裕一朗社長は、卸売業務の近代化、高度化への取り組み、さらには水産物の消費拡大や地域経済の発展に寄与したことが認められ第44回食品産業優良企業等表彰の食品流通部門において農林水産大臣賞を受賞しました。

●相談のきっかけ

物流の多様化やネット販売の普及により市場外流通が増加しました。コロナ禍においては外食産業の自粛や魚離れが影響し、流通市場の需要が減少していました。そこで、今後は一般消費者へも積極的にアプローチをする必要性を感じ、岡山ならではの自社ブランドの魚介類を売り出すことを企画しINPIT岡山県知財総合支援窓口へ相談に来訪されました。

●支援概要

同社は、白桃の果皮や果汁を使用した独自開発の飼料を鯛に与えて養殖をしており、今後は鯛以外の魚種にも拡大をすることを計画していました。そこで、ブランドを作る際は、1品ごとのペットネームよりファミリーネームまたはコーポレートブランドを作ることが効果的であることを助言し、

商標「ピーチフィッシュ（登録第6556218号）」及び「白桃フィッシュ（登録第6556219号）」の出願を支援しました。また、ブランド化を成し遂げるためには、本商品の共通イメージやブランド価値を浸透させることや競合他社の商品と明確に差別化させることが重要であることを助言しました。

●支援成果

水産物卸業を生業とする同社は、本商標を活用することで、経営の多角化を図ることができるようになりました。例えば、飲食業界などこれまで関係が希薄であった企業とのつながりができ始め、「ピーチフィッシュで商品を作りたい」という引き合いも来ているとのことです。岡山県庁の食堂でもこれを使用した料理が提供されているほか、大阪・関西万博の弁当のプロトタイプに食材として採用されました。さらには、ピーチフィッシュのブランド力向上により、鮮魚だけでなくその燻製やフィーレなどの加工品開発にも力を入れ始めています。本取組は、地元紙だけでなく全国紙や各種メディアにも取り上げられ、周知効果も得られています。



研磨器の意匠権を活用したライセンス支援

●企業紹介

当社は、代表の開発力を背景とし、農業用の機械の中でも各種刃物研磨器に特化した戦略で事業を展開しています。特に、2016年に開発した研磨機は、刃物の2面を同時に研磨が可能な画期的な研磨器であることから市場の脚光を浴びています。当社は、本研磨機に関する複数の意匠権を取得し、意匠権を活用したライセンスビジネスを実践している知的財産活用企業でもあります。

●相談のきっかけ

最初の相談のきっかけは、30年ほど前、特許情報の先行技術検索を目的として特許情報書庫の利用に遡ります。その後、2017年より、同代表より、特許権取得コストの低減の相談を受け、意匠権の出願提案をしたのがきっかけです。

●支援概要

意匠権は、物品の形状等を描いた6面図が作成できれば権利が得られること、更に産業財産権に特に精通してなくとも模倣品が発見できる等のメリットがあることを説明しました。その後も同社への支援を行い、意匠権5件（意匠登録第1676305号等）の登録、更に意匠出願1件につながっています。あわせて意匠権を活用したライセンスモデルを紹介し、

専門家（妹尾直人弁護士）及び岡山県よろず支援拠点から、意匠権通常実施許諾契約書及び基本取引契約書の作成支援を行いました。

●支援成果

意匠権5件の取得と契約書等の支援により、同社は大手の卸業者と意匠権通常実施権許諾契約を締結することができました。現在は、卸業者が製造・販売を担当することとなり、ライセンスモデルに移行しています。その為、同社は従来悩まされていた受発注業務や在庫管理等の管理業務から解放され、代表一人で企業経営をすることができるようになりました。



ものづくり基盤技術としての知財活用支援

●企業概要

当社は昭和7年6月に大阪市港区で創業しました。創業から40年経った

昭和45年、阪神高速道路の建設予定地(国土路線新設計画)に工場が該当した為、昭和47年、岡山県総社市に新工場を建設し現在に至ります。

主要製品は自動車用動力伝達部品(メインシャフト、インプットシャフト、アウトプットシャフト、カウンターギアシャフトなど)や足廻り部品(ケーシングハブ、ナックルなど)です。自動車部品以外に産業機械、農機具、工具などの鍛造品も手掛けております。

●窓口活用のきっかけ

平成23年度戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)で開発したスマート鍛造プロセスをどのような形で(社内ノウハウとするか、権利化するか)残すのが良いか判断できずご相談させて頂きました。窓口に相談することにより社内の知財がいかに重要なものであるかを知るきっかけになりました。

●相談概要

スマート鍛造プロセスは既に先行技術が特許化

されていたためスマート鍛造プロセスの特許性をどのように掲示すればよいかをご相談させて頂きました。スマート鍛造プロセスを「もの」(ラインを構成する設備)と「プロセス」(工程)に分けて、それぞれで特許を取得する方法をご指導頂き、先行技術とスマート鍛造プロセスの違いを明確にしつつ、権利化の範囲を拡げることができました。

●窓口を活用して変わったところ

特許技術を持つことでスマート鍛造プロセスの開発に携わった人たちの自信に繋がりました。また、権利化することでライセンス供与という新たな事業の道筋を見つけることができました。

自動車用鍛造品



㉘ 株式会社日ノ出化工

【所在地】 総社市

【業 種】 製造業

特許

海外展開

商標

事業・経営

100%自然素材の除菌剤・消臭剤の商標保護、販路開拓支援

●企業紹介

当社はFRP製品の製造加工のほか、エコロジー事業部では環境に配慮した事業展開をしており、100%自然素材からなる牡蠣殻を使用した除菌剤、及び濃縮炭を使用した消臭剤の製造販売を行っております。また、廃棄プラスチックのリサイクル加工（油化）事業に取り組み、同事業について令和5年に経営革新計画の承認を受けています。

●相談のきっかけ

同社は新事業のためエコロジー事業部を立ち上げ、カーボンニュートラルを目指して環境に配慮した事業を開始し、牡蠣殻を使用した除菌剤、及び濃縮炭を使用した消臭剤の商品名の商標登録について、INPIT岡山県知財総合支援窓口にご相談がありました。

●支援概要

当窓口は牡蠣殻を焼成、微粉末化した除菌剤「Re:shell」と、木炭を再活用した濃縮炭を使用した消臭剤「Sumiyoi」の商標登録出願と早期審査を支援しました。また海外展開のためのハウスマークの知財戦略について助言し、外国出願補助金の紹介と、専門家（森寿夫弁理士）を活用したハウスマークの国際商標出願に係る支援を行いました。

また、同社の将来構想を見る化するために経営デザインシートの作成支援を行ったことで、エコロジー事業部の今後の戦略が明確になりました。現在は専門家（木村厚弁理士）を活用して廃棄プラス

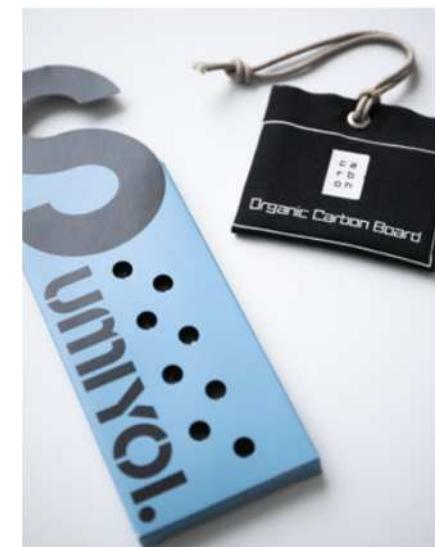
チック油化装置の知財クリアランス、及び特許権利化の支援を行っております。

また、岡山県よろず支援拠点（高草木晶コーディネーター、清水陽子コーディネーター）と岡山県産業振興財団（中小企業支援センター）と連携し、除菌剤と消臭剤の展示会出展と商品パッケージの支援を行いました。

●支援成果

「Re:shell」、「Sumiyoi」、ハウスマークが登録となり（商標第6509577号、商標第6464152号、商標第6501968号）、また、外国出願補助金を活用してハウスマークを外国出願し、ベトナム、インドネシアで権利化しました。除菌剤及び消臭剤は複数の展示会への出展後、自社及び他社

ECサイトで販売され、保育園で定期購入されたり、海外ではインドネシアでも販売されるなど販路を拡大しています。廃棄プラスチック油化装置は、温暖化ガスの削減策として全国紙（日本経済新聞）に掲載され、会社全体として売上げと利益が向上し、従業員を4名増員することができました。



酒類の商標支援(次世代へ繋ぐブランド)

●企業紹介

当社は、倉敷市で地域密着型の店舗を2店舗経営している酒類小売店です。地元のお客様から御愛顧いただいておりましたが、平成30年岡山県倉敷市真備町の豪雨災害に被災し1店舗を失いました。現在は水島店(本店)と復興商店街店の2店舗で営業しています。復興への願いを込め、倉敷産にこだわったオリジナルブランド清酒「福興」の販売を始めて新たな取り組みにチャレンジしています。

●相談のきっかけ

同社は、復興商店街に出店する際の目玉商品である清酒「福興」の販売を企画されました。その際に玉島信用金庫に相談したところ、担当者から商標登録を検討したほうがいいというアドバイスを受け、知財総合支援窓口を紹介されたことをきっかけに商標登録支援とブランド戦略をスタートしました。

●支援概要

「福興」の商標登録支援に専門家(弁理士)を活用し、出願から登録(第6195048号)までの支援を行いました。商標登録後には、専門家(ブランド・マーケティング)を活用することで「福興」のブランディングと販路拡大に成功しました。また、後継者には事業承継について将来への

ビジョンを踏まえSWOT分析や経営デザインシートなどを活用し助言を行いました。現在は店舗のブランディング及び店舗名の商標出願について、玉島信用金庫と連携しながら支援を継続中です。

●支援成果

商標登録することで自己商標酒類卸売業免許の取得ができ、商標登録された製品の卸売が可能となりました。大手スーパーのイベント販売や近隣コンビニエンスストアでの販売を皮切りに、

東京新橋の『とっとり
おかやまアンテナ
ショップ』への出品も
決定しています。また、
次世代へ引き継ぐブラン
ドとして事業承継の
シンボルとなり、後継者
の方の意識も高まりま
した。



「大学と共同開発した地元材料使用菓子の知財保護」の支援

●企業概要

子供の頃から“ケーキ屋さん”になりたくて、東京や倉敷でお菓子作りを学び、平成8年にJR中庄駅の南口正面に自家焙煎珈琲とお菓子を喫茶スペースで飲むことができる洋菓子店をオーブンしました。

四季の味わいを大切に、より(More)自然栄養に心がけたお菓子作りや焙りたての珈琲豆を販売しております。

●窓口活用のきっかけ

店はイートーインのテラスが併設された洋菓子店です。お菓子の材料は岡山県産の果実や体に良いものを積極的に使用しており、「郷土愛」と「観光」をテーマにした新商品を常に開発しております。同店代表(シェフパティシェ)から、「材料に岡山県倉敷市下津井産の蛸の粉末を使ったパイを開発しており、商品名が他人の商標権を侵害していないか確認したい」との相談をいただきました。

●相談概要

商標登録したいとの相談をいただき、決定した商標(材料である蛸をイメージした図形と「叶」の文字)について、商標の登録要件、先行商標調査の方法、出願書類の作成方法を説明し、出願手続きを支援しました。また、パイは蛸をモチーフとした形状であり意匠登録もしたいとの相談をいただきました。型枠の使用により再現性のある形状であること、形状のバリエーションは予定していないことを確認し、意匠の登録要件、先行意匠調査の方法、出願書類の作成方法を詳しく説明したうえで、

出願手続きを支援しました。商標及び意匠とも登録査定となり、登録料を納付後、商標登録第6097988号として登録されました。

●窓口を活用して変わったところ

過去に相談者自身の手続きで商標登録をされた際に登録維持年金納付失念で権利消滅された経験があり、商標・意匠の権利取得後の管理方法も相談いただきました。その後も別商品名の商標登録出願や、パイの製造方法(特許／ノウハウ)も相談いただき、新商品の企画及び改良段階で知財総合支援窓口に相談する意識ができたと思います。

また、商標及び意匠を積極的に活用するため、商品説明書や広告に商標登録出願及び意匠登録出願済みであることを記載して、商品展示会に出展されました。商標に「叶」の文字があることから受験シーズン等で売り上げが伸びています。



白桃の長期保存技術による新商品のハウスマーク権利化支援

●企業概要

果樂株式会社は、桃農家60年の「桃里庵」を継承すべく、2016年11月に、農業生産法人として設立されました。現在、倉敷市浅原の丘陵地で約2.5haに400本の桃の木を栽培管理しており、「清水白桃」をはじめ、約20品種に及ぶ桃を栽培しています。2018年8月に総合化事業計画(農林水産省、6次化)の認定を受け、旬が短く日持ちがしない桃の長期保存技術の開発に取り組んでいます。この長期保存法により、白桃の販路として海外市場への展開を指向しています。

・「岡山イノベーションコンテスト2018」グランプリ受賞

●窓口活用のきっかけ

倉敷市浅原は、古くからの白桃の生産地であるが、全国的にはほとんど知られておらず、知名度の向上の必要性を痛感していた。そこで、地理的表示(GI)又は地域団体商標の取得を目指してよろず相談拠点に相談したところ、知財総合支援窓口の紹介を受け、支援を開始しました。

●相談概要

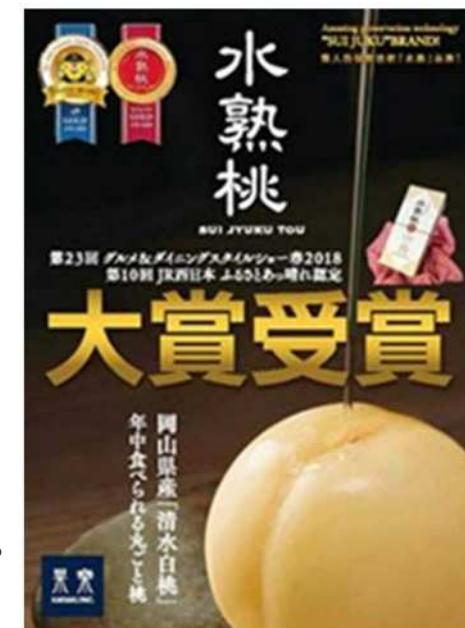
専門家(弁理士)と商品ブランドについて整理を行い、ハウスマークの使用・登録が適切であるとのアドバイスを受け、社名を登録出願することにし、外国出願にも対応できる商標「果樂＼KARAKU INC.」を商標登録出願しました。

さらに水熟製法による商品のシリーズ化をにらみ、国内の登録商標「水熟」を取得しました(商標登録第6101977号)。また、製法について特許とノウハウのどちらでどのように保護するかについても支援を行っています。

●窓口を活用して変わったところ

これまで白桃の生産農家としてカタログ販売を行っていましたが、社名である商標「果樂＼KARAKU INC.」を国内外に商標登録出願した

ことを契機にタログ等を作り直し、新規販路開拓を目指し、今では首都圏の百貨店、空港やJRの売店、更には母の日や父の日等のイベント用に販路が拡大しています。また、香港、台湾へも商標登録出願を行っていることから、安心して海外への販路開拓に取り組むこともできています。



海外販路開拓のために外国出願補助金を活用

●企業概要

当社は1982年設立の食品加工機器の開発・製造・販売会社です。独自 機構を採用したイカ細切機(塩辛用)の設計開発を皮切りに、お客様の意見を取り入れ、共に研究開発をしていくという方針のもと、常にお客様のニーズに応える食品加工機器の製造を行っておりまます。主なユーザーは焼き鳥店、ブロイラーなどの食肉加工会社や、塩辛用のイカ、フグの皮などをカットする水産加工会社などです。お客様によって食材の種類や仕上げる姿形が違えば、おのずと加工機の性能やカッティング内容が異なりますが、独自構造の脱着式ユニットを交換する方法でユーザーニーズに合わせたカット幅変更も対応できます。

●窓口活用のきっかけ

知財総合支援窓口の普及啓発担当者が訪問した際に「DYNACUTTER」(商標登録第5887843号)が国内で商標登録出願中であるとともに、海外の売上が全体の4分の1を占めていることから外国出願を勧めました。その後、国内で「DYNACUTTER」が商標登録となり、同社社長から当窓口に外国出願の手続きや補助金活用について相談がありました。

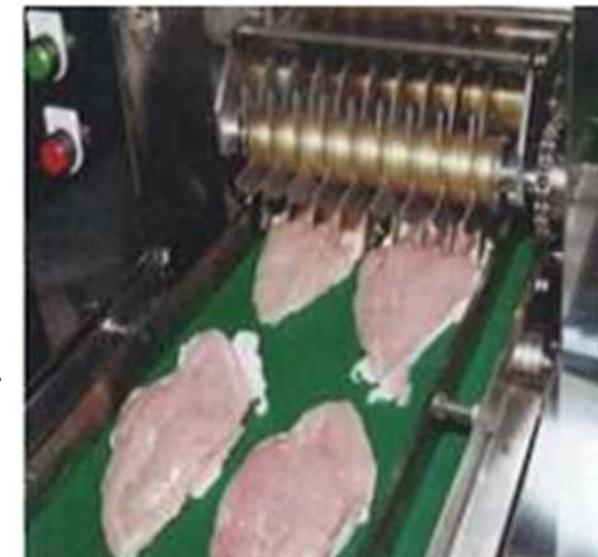
●相談概要

同社の製品「DYNACUTTER」については、外国への商標登録出願の決意を固めましたが、

多額の費用がかかることから窓口に再び相談があり、(公財)岡山県産業振興財団の外国出願補助金への申請を勧めました。外国出願補助金採択後は、アメリカ、欧州連合、中国、韓国、フィリピン、シンガポールの6ヶ国へ出願しました。このことにより、「切れ味」にこだわり開発を続けてきた同社製品を知財で守ることができます。

●窓口を活用して変わったところ

外国出願をしたことで、海外展示会へ出展する際にその国で商標登録されていることを伝えることで信用につながりました。また、知財総合支援窓口を利用することで知財に関する関心が広がり、徐々に社内へ浸透するようになりました。今後も自社製品に知財を活用して収益アップを考えているとの事です。



底付き感を減少させた敷物の特許出願

●企業概要

当社は創業以来、い草製品をはじめ、竹・籐などの天然素材を中心に、商品の製造・卸売を行っています。会社理念に「仕事ができる幸せ」「家庭を愛する幸せ」「社会に貢献できる幸せ」を掲げ、幸せを追求する会社を目標に邁進しています。また、幅広い層に向けた販売活動を展開し、お客様に満足して頂ける品質を誇る会社になるためにも、人材育成に力を注ぎ、常にクオリティの高い商品の提供を心がけています。

●窓口活用のきっかけ

同社は岡山県の伝統産業である、い草製品の製造・販売をされており、常に顧客に提案できる新商品開発に取り組まれています。これまでにも本開発品以外で、同社社長から知的財産権の保護に関する相談を受け、対応させていただいています。今回のエラスティックラグは、開発段階で知的財産権の保護を検討しながら開発を進めたいとのことで、同社社長から相談をいただきました。

●相談概要

試作品が完成した直後に電話で同社社長から相談を受けました。幅広い知的財産権の保護を目指したい意向を持たれていました。商品コンセプト、最終製品のイメージをお聞きしたうえで弁理士とともに検討し、特許または実用

新案による保護が良いと思われることや、特許等出願を前提としたアドバイスを行いました。何度かの改良を重ねた上での開発がほぼ完了し、顧客からの評価も得た段階で相談をいただきました。今までの相談者は同社社長1名でしたが、開発担当者にも同席していただきました。弁理士の派遣を行い、最終製品の形態、顧客への開示状況（日及び内容）を確認し、出願内容（案）及び新規性喪失の例外規定の適用についてアドバイスを行いました。

●窓口を活用して変わったところ

開発したエラスティックラグは販売にあたり特許出願中の表示をしており、販売開始前の想定よりも売り上げが多かったとのことで、特許出願による広告、他者牽制の効果を実感いただきました。その後の相談において、開発担当者が具体的に出願までの検討の進め方を経験されたことは、人材育成の観点

からも有効であったと考えます。現在はその開発担当者より、別の開発品の相談に対応しております。



古酒のプライベートブランドの商標権取得

●企業概要

創業して約半世紀、米穀及び酒類の一般家庭への宅配を主に小売販売を行うお店です。その後平成9年コンビニエンスストアに業態を変更し、平成25年前代表者逝去に伴い現代表者が事業を承継しました。現代表者は、第二創業として、岡山県の地酒・果実リキュールの海外輸出及び海外販路開拓を開始いたしました。

当店の企業理念は「日本のお酒を世界に、世界のお酒を岡山へ、銘酒を発掘し続ける企業」です。

●窓口活用のきっかけ

岡山県知財総合支援窓口は、平成27年9月9日に開催された第11回しんきん合同ビジネス交流会（県内の信用金庫が主催する商品展示、商談・相談会）にブースを設けて知的財産権に関する相談に対応しました。社長がブースにお見えになられ、相談に対応させていただきました。

●相談概要

同社は特別な日のために飲んでいただくのにふさわしい古酒を提供したいという企画を実現すべく、酒造会社と共に開発を進めておられました。古酒の販売にあたり企画にふさわしいロゴマークを検討されており、商標出願についての相談を受けました。商標権の効力・活用、出願までの流れ、出願から権利化までの流れをご説明したうえで、

後日訪問して再度対応させていただくこととしました。訪問により出願内容を決定、商標調査方法等について説明しました。ロゴマークは商品の種類に対応して様々な使用態様を検討されていましたが、登録可能性がある最も使用頻度の高い態様を出願することにしました。さらに出願書類作成について助言し、知財総合支援窓口の共同利用端末による出願および登録料納付を行い、権利を取得することができました。

●窓口を活用して変わったところ

商標権はネーミングやロゴマークを保護するものであることを理解していましたが、知財総合支援窓口の助言、支援を受けることで指定商品・役務の意味、商標の効力・活用方法について理解を深めいただきました。

今回、使用するロゴマークについて、出願内容の検討、商標調査、出願から権利化までの手続きをご自身でされたことは、今後の新たな商標出願を行う際に活かされると考えます。



100年企業を目指した新たな挑戦 (コーポレート・アイデンティティ活動から始まる知財戦略支援)

●企業紹介

当社は、岡山県倉敷市に本社を構える建設業を営む企業です。2017年に創立50周年を迎えたが、創業当時より受け継ぐ「挑み続けてこそ進化できる、新しい価値を生み出せる」という精神のもと、積極的に新しい技術を取り入れ進化への挑戦を続けています。今後100年企業として成長するために、さらなる企業価値の創造に努め、社会から求められ続ける企業を目指しています。

●窓口活用のきっかけ

相談者はコーポレート・アイデンティティ活動の一環として自社標章を刷新し、デザインを担当した広告代理店の勧めでINPIT岡山県知財総合支援窓口に商標出願の相談がありました。その後、INPIT岡山県知財総合支援窓口から特許出願のほか社内での知財活用について提案し、社内体制の整備や知財戦略立案に着手しました。

●相談概要

まず、同社の商標出願を支援し、無事出願されました。

次に、建築工法の特許について専門家(黒住智彦弁理士)を活用し、社内体制の整備のため、自社で先行技術調査が行える体制づくりや、職務発明規程について支援を行いました。経営面では、知財活動の活性化を目指してIPランドスケープについて紹介し、外部環境分析等について

も助言しています。

さらに、岡山県発明協会主催の「岡山知財塾」に参加いただき、その後、経営デザインシートを活用した知財戦略立案の支援を行いました。

●支援成果

商標を取得することができました(登録6659545号)。また、工法の特許は出願を済ませ、同技術に係る工事2件を受注しました。加えて、就業規則に職務発明規程を加えたことで社内体制の整備も進みました。

技術開発においては特許情報等を活用する動きが進んでいます。同社がこれまで培ってきた技術やノウハウを強みとして、今後の経営に活かしていくよう知財戦略の立案にも着手しています。



工事管理システムの知財支援

●企業紹介

当社は、工事管理システムの開発・販売を主な事業として2022年に創業しました。工事管理システムで業務効率化を図り、工事管理を「楽に」(RAKUNY)にして欲しいという思いで本事業に取り組んでいます。

●窓口活用のきっかけ

同社の関連会社の株式会社金光組はガス配管工事を主な事業としており、同社が5年かけて工事管理システムのソフトウェアの開発を行いました。

関連会社に工事管理システムを導入したところ、業務効率化に成功したため、同社は工事管理システムの社外販売を決断し、事業化に向けたソフトウェアの知財保護についてINPIT岡山県知財総合支援窓口に相談がありました。

●相談概要

まず工事管理システムについての先行文献調査の方法を支援しました。次に、専門家(弁理士)を活用して工事管理システム及びその改良技術について権利化の支援を行いました(特許第7157504号、第7390765号)。さらに、会社名及び商品名として使用する商標の権利化も支援し、商標「RAKUNY」が登録になりました(商標登録第6706139号)。

また、弁護士を活用して、販売代理店との契約書に係る支援とソフトウェアの使用で蓄積されるビッグデータの利活用に係る支援も行いました。

●支援成果

技術的な強みを明確にでき、特許権と商標権で保護された製品の上市に貢献しました。

同社は創業後にホームページを作成して工事管理システムの販売を開始し、他社とソフトウェアのリース契約を締結することができました。また、販路開拓のため当窓口で支援した契約書を活用して販売代理店との契約を進めています。



確固たる技術を活用した新領域での存在感の発揮を目指す

●支援を受けるにあたって掲げた事業上の目標(Before)

これまでに蓄積してきたアルミ鋳造技術、金属加工技術をベースに、キャンプ用の飯盒(メスティン)やフライパン(スキレット)製品開発を通じて、自社の技術開発力を磨くと共に、キャンプ愛好家(BtoC市場)への市場開拓を図る。

●支援を受けてできるようになったこと(After)

BtoC市場に対する製品提供に取り組むにあたって必要なビジネスモデルの構築。

ブランド及びメインコンセプトの創出のための検討方法や磨き上げの手法を実践「KEI × F」ブランドを立ち上げた。

訴求力のある商品デザインの洗練方法、販売方法の具体的な最適化について実践。

●今後の事業展開の展望(Future)

アルミ製極厚スキレットセットのEC販売を開始。年間300セットの販売を目指す。

商品ラインの充実や販売ルートの開拓など、収益性の拡大のための施策を展開。

商品の訴求力を高める他者との連携・コラボレーションなどの企画を創出し着実に実行していく。

●重点支援を受けた事業や商材

二輪車用ウレタンシートのモールド成型を開始し、「ウレタン成型用」の「アルミ金型」に特化し技術力を磨いてきた。モデル製作から、鋳型、鋳造、金型、ウレタン製品の試作まで一貫生産が可能であり、多品種少量生産への対応を得意とする。BtoB(下請け)からの脱却を図るため自社製品の開発を行い、収益を上げたいと考え、アルミ鋳造技術が活かせる製品としてキャンプ用品(飯盒やフライパン)の試作を開始した。

●重点支援を通じて受けた支援と支援を通じてできるようになったこと

- ①ビジネスモデルの整理と事業戦略の策定
- ②知財戦略の策定と実行
- ③ブランド戦略の策定と実行
- ④販売戦略の策定と実行
- ⑤社内体制の整備



②⓪ グリーンツール株式会社

【所在地】 笠岡市
【業 種】 製造業



意匠

「切削工具のワンストップサービス」の支援

●企業概要

1978 年の創業以来、切削工具の使用後の摩耗や損傷情報を、どこよりも多く観察し、研究してきました。長年の経験と実績で蓄積した多くの知見やデータを活かし、新作工具の製造や再研削に取組んでいます。

21 世紀に入り、限りある資源を有効に活用し、廃棄物の削減やリサイクルなどの取り組みは地球規模で進んでいます。次の世代に緑の美しい地球をバトンタッチしなければなりません。当社は、工具の完全リサイクルを大命題に、環境と経済が調和した循環型社会を実現するグリーンカンパニーでありつづけたいと考えております。

●窓口活用のきっかけ

同社はエンドミル、ドリル等の切削工具の製造、再研削、再製造(例:エンドミルから面取りミル)及びリサイクルをされており、切削工具の完全リサイクルを大命題に「切削工具のワンストップサービス」を掲げ、循環型社会の実現に取り組まれています。開発中のエンドミルについて知的財産権を保護されたいとのことで、同社社長から相談をいただきました。

●相談概要

分類記号による特許調査、公報の読み方及びアイデアと公報の対比を支援し、並行して専門家(弁理士)と共に特許出願案検討を支援しました。その後特許第6027700号を取得されました。

当初、開発成果の知的財産権を保護したくても思うように進まなかったところ、当窓口活用による検討、調査や、窓口担当者同席での弁理士相談を繰り返されたことで、弁理士の助言の理解等をスムーズに行えるようになったことが、この度の権利化に繋がったと考えます。

●窓口を活用して変わったところ

その後同社は商標登録出願を検討され、自社で弁理士に直接依頼し、ハウスマーク及び「切削工具のワンストップサービス」の商標権を取得されたと伺いました。

当窓口への相談をきっかけに、知的財産の保護にあたり自社での進め方、弁理士への依頼のポイントを理解され、その後の別案件に活かされているものと考えます。



㉑ シヤイントマトファーム

【所在地】 笠岡市
【業 種】 農林水産業

海外展開

商標

ブランド

「美味しく輝くミニトマトの栽培、販売」の創業、ブランド化、販売戦略支援

●企業紹介

当社代表の①世界最先端の科学的なオランダ式農業の学び、②有機肥料会社や乳酸菌を研究する大学との強い繋がり、③有名なミニトマトブランド会社での栽培・販売経験から、2022年9月に岡山県南西部の瀬戸内海に面した笠岡の干拓地に、手頃な価格で買え、機能性成分を含むおいしく輝くミニトマトを栽培、販売する当社を創業しました。

●窓口活用のきっかけ

自信を持って同社のミニトマトを日本中の人々に食べてほしいとの思いから、同社のミニトマトをブランド化したいと考え、INPIT岡山県知財総合支援窓口に商標出願の相談がありました。その後、創業準備やブランディングについて提案し、多くの機関と連携して支援を行いました。

●相談概要

まず、商標出願を支援して「シャイントマト」等4件を出願しましたが、3件が拒絶理由通知を受け、専門家（森寿夫弁理士）を活用して支援しました。うち1件は、今後の海外展開を見据え岡山県産業振興財団の中小企業等外国出願支援事業を利用して外国出願しました。

また、ブランディング専門家（白石展子氏）の支援も受け、

商品コンセプトの策定や有名な百貨店・レストラン等への販売戦略の構築等でブランディングの明確化を図りました。

さらに、岡山県中小企業支援センターへの資金調達の相談、笠岡商工会議所や岡山県よろず支援拠点の補助金の活用も提案しました。

●支援成果

4件の商標登録（商標登録第6705482号他）を取得しました。

また、商品コンセプトを明確化しブランディングすることで百貨店・レストラン等への販売が定着したことに加え、岡山県等が主催する「ベンチャーマーケット岡山」でビジネスプランを発表し、事業拡大時に相談先（銀行、投資家）も見いだしています。



窓口での支援内容

特許、実用新案、商標、意匠、営業秘密、著作権など知財に関する様々な課題に対してご支援します。

下記の相談例の他にも知財に関することならお任せください。

お気軽に
ご相談ください



事業に知財を活用したい!

知財戦略による経営基盤の強化を支援します。営業秘密管理体制や権利化規定など社内体制の整備についても対応します。

技術やデザインを守りたい!

技術やデザインの権利化やノウハウ保護について支援します。先行調査の方法やノウハウの保護方法について支援します。

ブランド化したい!

知財を活用した製品・サービスのブランド化やマーケティングについて支援します。海外展開にも対応します。

契約書の内容がわからない!

秘密保持契約や共同開発契約などの知財契約について支援します。外国語の契約書にも対応します。

手続き方法がわからない!

出願手続きや登録料納付手続きなど特許庁への手続き方法について支援します。外国出願にも対応します。

権利侵害の警告書が届いた!

権利侵害や紛争問題について支援します。訴訟問題に詳しい専門家から無料でアドバイスが受けられます。

〈支援方法〉

I まずはお気軽に電話086-286-9711で相談。詳細な内容は、窓口相談のご予約を。

II ご予約日に、支援担当者がご相談にお答えします。(何度でも)

III 必要に応じ、支援担当者の判断で知財専門家(弁理士、弁護士等)が支援を行います。

支援担当者の紹介



駒井 浩介

インフラ企業OB 知財検修、
知財取扱検定など、専門家を
活用しながら幅広い支援を日
勤します。



日比野 仁

大手家電メーカーで製品開発
と特許出願を経験。知財面か
ら各種のお問い合わせ、専門
家と連携しながら課題解決の
お手伝いをいたします。



大橋 和彦

電子系製造企業のOB。知財
権管理部門や研究開発部門を
歴任。特に、電気・電子・材料系
の技術相談からお受けします。



藤原 直樹

素材メーカー経験 特許282
件公開、登録143件 専門家
を活用しながら機密化を日程
します。



古田 茂

メーカーにて知財システムの構築、
知財リエゾンを経験の後、中小
企業でのソフトウェアの品質管
理、契約審査を担当。専門家と連
携しながら課題解決に取り組みます。

専門家と連携した支援

高度な専門知識を必要とするご相談には、支援担当者は専門家(弁理士、弁護士、中小企業診断士等)および他の連携機関(よろず支援拠点、商工会・商工会議所、下請かけこみ寺、中小機構、JETRO、日本規格協会、地方農政局、JATAFF、自治体、中小企業支援センター、大学・研究機関、金融機関、日本弁理士会)と協力し課題解決を支援します。*事前予約が必要です。

●窓口での相談	弁 理 士	毎週金曜日	13:30~16:30 [予約制]
	弁 護 士	毎月1回	13:30~16:30 [予約制]
●企業への派遣	専 門 家	随時実施	※原則として中小企業等及び創業予定者が対象です。

知財専門家のスケジュールは、当窓口のサイトのトップページより、
「相談・支援に関する情報>窓口派遣専門家相談スケジュール」から確認できます。
※祝日と重なる場合は、日程が変更になりますので予め窓口にご確認下さい。



◀窓口派遣専門家相談スケジュール

💡 知財総合支援窓口とは



✓ 訪問支援可



✓ 相談無料



✓ 秘密厳守

中小企業等が抱える様々な経営課題について、自社のアイデア、技術、ブランドなどの「知的財産」の側面から解決を図る支援窓口です。知財総合支援窓口は、各都道府県に設置しており、地域に根付いた支援を行っています。

全国の窓口一覧はこちら ➔

POINT1：窓口の支援担当者が相談内容に応じてアドバイス！

経験豊富な企業OB等の支援担当者が、まずはお話を通じて「経営」と「知的財産」の課題を把握します。

事業・知財戦略の策定助言や、それらの戦略に合った知財活動の方向性を無料でご提案します。

訪問による
支援も実施します！



POINT2：各分野の専門家が訪問や窓口で無料アドバイス！

企業の課題発見から、専門性を必要とする相談内容まで、専門家が支援担当者と協働してアドバイスをします。

知財の専門家である弁理士や弁護士をはじめ、デザイナーやブランドの専門家、地域ブランドや6次産業化を支援する地域ブランドデザイナー等の様々な専門家を派遣します。

弁理士



出願手続きや知財戦略への対応などのアドバイス

弁護士



知財関係や警告を受けた場合などのアドバイス

ブランド専門家



商品やサービスの開発について、ブランド育成や販売戦略をコンセプト作りからアドバイス

中小企業診断士



販路開拓、資金調達と事業展開などについてアドバイス

海外知財専門家



海外企業との契約や海外展開に関する問題点についての解決策をアドバイス

デザイナー



商品デザイン開発について、市場・ユーザー・生産・コスト等の視点から多面的にアドバイス

営業秘密・知財戦略専門家



営業秘密管理や営業秘密を活用したオープン&クローズ戦略などのアドバイス

農林水産専門家



農林水産など地域資源を活用した知的財産についてのアドバイス

こんな成功事例が生まれています。

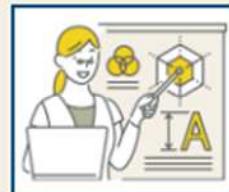
支援事例1：知財戦略（特許）

食器を自動研磨するロボット開発に挑戦する相談者様。「ロボット開発では知財戦略が重要」との意識から窓口を利用されました。専門家とともに、出願済み特許内容の再確認、共同出願契約の内容見直し、他者権利の侵害回避策、海外進出の留意点と出願戦略等の多面的な支援を行い、知財面を考慮したビジネスモデルを構築し、具体的なアクションプランの策定等につながりました。



支援事例2：ブランディング

ネイルサロンを創業した後、ネイルの商材販売や技術セミナーを行う相談者様。成分にこだわったネイルジェルの開発、販売を機に、窓口を利用されました。ジェルの商標出願に加え、ジェルの製造委託契約の内容適正化や、工業研究所と連携した品質検査の規定、ブランド専門家とのビジネスモデル検討など、権利化やブランディングに関する多面的な支援を受け、売上を拡大されました。



支援事例3：海外展開

牛タンの仕入れ、製造加工、販売、飲食店運営を行う相談者様。商品販売や飲食店の海外展開をすべく窓口を利用されました。海外展開時の注意点等についてINPITの専門窓口から助言を受け、出店計画を作成。その後、補助金を活用しつつアジア5か国に商標出願をするための支援を受けられました。商標取得により海外展開も計画どおり進展。また、登録商標の活用で他社と差別化を図り顧客満足度と信頼度が向上し、営業力強化とブランディング戦略が加速しました。



知財ポータルでは、全国各地の窓口での支援事例を紹介しています。利用者の声もご覧いただけます。

支援事例はこちら ➔

様々な支援機関・専門家と 連携した幅広い支援!

INPIT



相談者

INPIT知財総合支援窓口

- 知財経営支援
- デザイン
- ブランド
- 営業秘密・ノウハウ
- 知財法務・契約
- 知財人材育成
- 海外展開
- 著作権
- 社内体制

営業秘密・知財戦略専門家



営業秘密管理や営業秘密を活用したオープン＆クローズ戦略などのアドバイス

弁理士



出願手続きや知財戦略への対応などのアドバイス

弁護士



知財関係や警告を受けた場合などのアドバイス

デザイナー



商品デザイン開発について、市場・ユーザー・生産・コスト等の視点から多面的にアドバイス

ブランド専門家



商品やサービスの開発について、ブランド育成や販売戦略をコンセプト作りからアドバイス

中小企業診断士



販路開拓、資金調達と事業展開などについてアドバイス

INPITの専門窓口

- 海外展開知財支援窓口(東京)
- 営業秘密支援窓口(東京)
- 関西知財戦略支援専門窓口(大阪)
- スタートアップ知財支援窓口(東京)
- アカデミア知財支援窓口(東京)

(独)工業所有権情報・研修館(INPIT)は、INPIT知財総合支援窓口の他に上記の5つの窓口による網羅的な支援を提供しています。

主な連携機関

- よろず支援拠点
- 商工会・商工会議所
- 下請かけこみ寺
- 中小機構
- JETRO
- 日本規格協会
- 地方農政局
- JATAFF
- 自治体
- 公設試
- 中小企業支援センター
- 大学・研究機関
- 金融機関
- 日本弁理士会

窓口までのアクセス

車でお越しの方

岡山駅から約25分。国道53号から吉備新線を経由して岡山桃太郎空港方面に向かう。岡山リサーチパーク内のテクノサポート岡山内。(写真1・地図1参照)

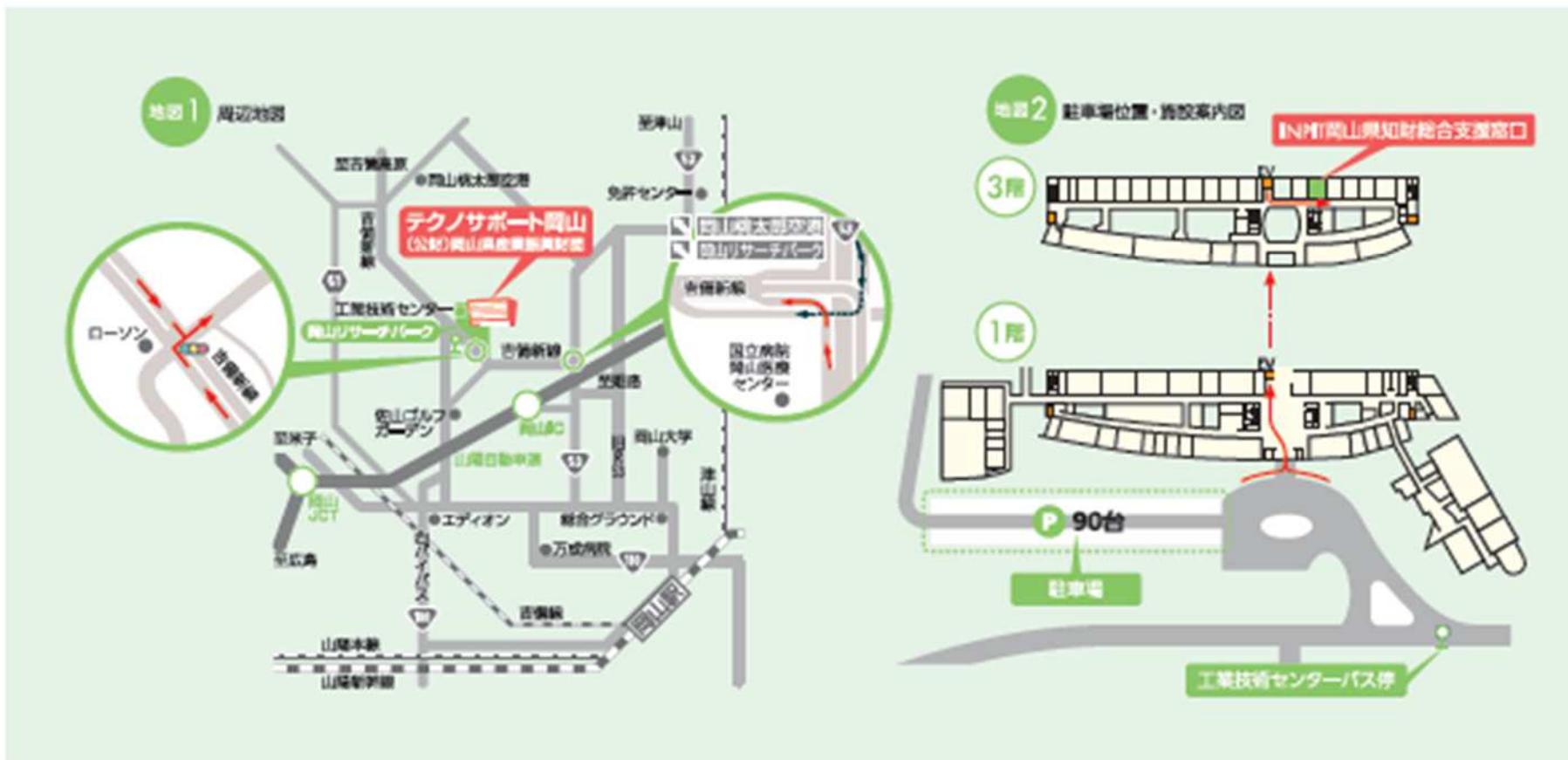
駐車場のご案内

テクノサポート岡山に向かって左手に進む。
90台の駐車場あり。(写真1・地図2参照)

バスでお越しの方

岡山駅⑥番乗り場より、中鉄バスの「芳賀佐山団地・リサーチパーク」行きに乗車。所要時間約40分。「工業技術センター」下車すぐ。(写真1・地図1-2参照)





外部定期窓口のご案内

津山外部定期窓口

【利用時間】原則第4水曜日 10:00～15:00

【住 所】〒708-0004 岡山県津山市山北663 津山市役所東庁舎1階

開催日時については、知財相談窓口へお問い合わせください。

*祝日と重なる場合は日程が変更となりますので予め窓口にご確認ください。

*詳細はホームページ又は窓口にご確認ください。

倉敷外部定期窓口

【利用時間】原則第2木曜日 13:00～16:00

【住 所】〒710-8585 岡山県倉敷市白楽町249-5 倉敷商工会館2階

事前予約にて
ご利用ください。



外部窓口のご案内

笠岡外部窓口

【住 所】714-0081 岡山県笠岡市笠岡2388番地
(笠岡商工会館内(笠岡シーサイドモール内))

開催日時については、知財相談窓口へお問い合わせください。

*祝日と重なる場合は日程が変更となりますので予め窓口にご確認ください。

*詳細はホームページ又は窓口にご確認ください。

児島外部窓口

【住 所】711-0921 岡山県倉敷市児島駅前1-37
(倉敷市児島庄屋振興センター2F)



2025.04